

喀痰吸引等研修（標準コース）

研修期間：令和 年 月 日～令和 年 月 日

【基本研修（講義）】

	科目名	内容	時間数	時間	合計
1日目	開校式	オリエンテーション	0.5	9:00～9:30	8.0
	1.人間と社会	1.介護職員と医療的ケア 2.介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度	1.5	9:30～18:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
	2.保健医療制度とチーム医療	1.保健医療に関する制度 2.医療行為に関係する法律 3.チーム医療と介護職員との連携	2.0		
	3.安全な療養生活	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2.救急蘇生	4.0		
	4.清潔保持と感染予防	1.感染予防 2.職員の感染予防 3.療養環境の清潔、消毒法 4.滅菌と消毒	2.5		
	5.健康状態の把握	1.身体・精神の健康 2.健康状態を知る項目（バイタルサインなど） 3.急変状態について	3.0		
	6.高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	1.呼吸のしくみとはたらき 2.いつもと違う呼吸状態 3.喀痰吸引とは 4.人工呼吸器と吸引 5.子どもの吸引について 6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 7.呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して） 8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 9.急変・事故発生時の対応と事前対策	3.0 4.0	9:00～17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
4日目	7.高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説（1）	1.喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持 2.吸引の技術と留意点 3.喀痰吸引にともなうケア 4.報告および記録	1.0 4.0	9:00～17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	7.0
	8.高齢者および障害児・者の経管栄養概論	1.消化器系のしくみとはたらき 2.消化・吸収とよくある消化器の症状 3.経管栄養とは 4.注入する内容に関する知識 5.経管栄養実施上の留意点 6.子どもの経管栄養について 7.経管栄養に関係する感染と予防 8.経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意 9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認 10.急変・事故発生時の対応と事前対策	3.0 4.5	9:00～17:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
	9.高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説（1）	1.経管栄養で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔の保持 2.経管栄養の技術と留意点 3.経管栄養に必要なケア 4.報告および記録	2.5 5.0	9:00～17:45 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	
	オリエンテーション 7.9.高齢者及び障害児・者の「たんの吸引・経管栄養」実施手順解説（2） 筆記試験	演習、実地研修について 喀痰吸引の技術と留意点② 経管栄養の技術と留意点② 60分（30問）合格90%以上	0.25 3.0 3.0 1.0	9:00～9:15 9:15～17:30 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	

【基本研修（演習）】

8日目	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引5回以上	7.0	9:00～17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	7.0
		鼻腔内の喀痰吸引5回以上			
		気管カニューレ内部の喀痰吸引5回以上			
9日目	経管栄養 救急蘇生法	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養5回以上	7.0	9:00～17:15 <休憩時間> 午前午後各15分 昼45分	7.0
		経鼻経管栄養5回以上			
		救急蘇生法1回以上			

【実地研修】 第1号研修は5行為すべて、第2号研修は任意の行為（1行為以上）履修

基本研修修了の日の翌日から研修期間最終日まで	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引10回以上			
		鼻腔内の喀痰吸引20回以上			
		気管カニューレ内部の喀痰吸引20回以上			
	経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養（滴下型）20回以上			
		経鼻経管栄養20回以上			